

公益社団法人 私立大学情報教育協会
平成28年度 第4回事業普及委員会
議事概要

- I. 日時 平成28年12月26日(月) 16:00~18:00
場所 公益社団法人 私立大学情報教育協会 事務局
- II. 出席者 向殿担当理事、今泉委員長、木村委員、西浦委員、山本委員、戸高顧問
(事務局 井端事務局長、高川職員)

III. 検討内容

1. 2016年度 機関誌 No.4 (3月号) の原稿企画について

「巻頭言」、特集「情報セキュリティ」、「大学の組織的な取り組みの工夫」、について以下のように検討した。

- ① 「巻頭言」については、獨協大学か大阪経済大学のどちらかにすることにした。
- ② 特集は、1~3号までがアクティブ・ラーニングなどの教育関係であったことから、職員向け「情報セキュリティ」をとりあげることにした。
内容としては、「IOT時代の情報セキュリティの課題」を国立情報学研究所の高倉氏、「サイバー攻撃の動向とセキュリティの対応体制」を東京大学の満永氏、「経営執行分の情報セキュリティに対する取り組み」、「情報セキュリティベンチマーク評価の必要性と活用対策」、「情報セキュリティベンチマーク評価の集計結果」を事務局で作成することにした。
- ③ なお、特集の狙いを紹介するために、上記掲載原稿の趣旨を事務局で作成することになった。
- ④ 「大学の組織的な取り組みの工夫」については、「千歳科学技術大学」、「立命館大学」、「愛媛大学」の事例を紹介することにした。
- ⑤ 「海外ニュース」、「募集」、「事業活動報告」、「私情協ニュース」は、資料1の通りの内容とした。
- ⑥ 「賛助会員だより」は、これまで掲載のない「株式会社旭ネット」、「アマゾンウェブサービスジャパン株式会社」、「伊藤忠テクノソリューションズ」、「株式会社 SIGEL」、「富士通株式会社」に依頼することにした。

2. 2017年度機関誌の編集方針について

- ① 「特集」は、大学教育の質的転換に向けた取り組みを中心に、文部科学省での競争的補助金の採択大学、本協会の大会、理事長・学長会議、事務部門管理者会議、各種イベントの発表、アクティブ・ラーニング分野連携対話集会の話題提供などからテーマを設定することにした。例えば、「質保証への取り組み」、「学修成果の把握と可視化」、「分野横断型 PBL 授業の試み」、「モバイル端末を活用した教育・学修方法」、「サイバーセキュリティ対策の現状と課題」、「問題発見・解決思考を育成する情報活用教育」のようなテーマの中で具体的に検討することにした。
- ② 教育改革に組織的に取り組む事例を紹介するため、「大学の組織的な取り組みの工夫」として、毎号数例を紹介することにし、例えば、「ICTを活用した教育・学修支援」(LMS、eラーニング、反転学修、地域社会・産業界との連携教育、ラーニング・コモンズ、モバイル端末の活用など)「e シラバス、e ポートフォリオ、IR」のようなテーマの中で検討することにした。
- ③ 「事業活動報告」は、例年通り年度に実施した各種のイベントの開催結果を掲載することにした。具体的には、大学職員情報化研究講習会、大学情報セキュリティ研究講習会、ICT利用による教育改善研究発表会と受賞者決定、教育改革 ICT 戦略大会、短期大学教育改革 ICT 戦略会議、教育改革FD/ICT理事長・学長会議、「私立大学教員授業改善白書」を6月号に掲載することにした。
- ④ 「賛助会員だより」は、これまでに導入事例として掲載していない賛助会員に記事の提供を28年度内に働きかけることにした。なお、記事の提供を協力いただけない場合は、既に提供のある賛助会員に依頼することにした。掲載の順番は同じ会員が続かないよう配慮することにした。
- ⑤ 「巻頭言」は、これまで掲載のない大学・短期大学を抽出し、年度を通して学長に依頼することにした。その際、大学の規模・種別に配慮することにした。

3. その他 (次回の日程について)

次回の日程は、平成29年2月10日（土）14時とした。